

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
オーパルスプリント	2018/9/24	JpnIII	浦和	1400m	ハイペース	良	コース適性

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	スアデラ	牝5	52	的場文	ゴールドアリュール	サンデー系	ラムタラ	ノーザン系	D	B	C	D	C	C		
2	2	ノブワイルド	牡6	54	左海	ヴァーミリアン	ミスプロ系	アンバーシャダイ	ノーザン系	B	B	A	B	B	A	◎	
3	3	ドライヴナイト	牡5	54	藤岡祐	カジノドライブ	ナスルーラ系	バルブガムフェロー	サンデー系	B	B	B	C	B	B	△1	
4	4	メジャーアスリート	牡9	54	高橋哲	ダイヤモンド	サンデー系	Storm Cat	ノーザン系	D	D	D	D	D	D		
5	5	ウインムート	牡5	54	内田博	ローズインメイ	ヘイロー系	マイネルラブ	ミスプロ系	A	B	B	A	A	B	○	
	6	アンサンブルライフ	牡5	54	繁田	アジュディケーティング	ノーザン系	Dancing Brave	ノーザン系	D	B	B	C	C	C		
6	7	コスモマイギフト	牡9	54	阪上	アツミラーレ	サンデー系	スピニングワールド	ノーザン系	D	D	D	D	D	D		
	8	トーセンハルカゼ	牡8	54	真島	キングカメハメハ	ミスプロ系	サンデーサイレンス	サンデー系	D	B	D	D	C	C		
7	9	ネロ	牡7	55	戸崎	ヨハネスブルグ	ノーザン系	サンデーサイレンス	サンデー系	B	A	C	C	B	C	△2	
	10	サトノタイガー	牡10	54	笹川	キングカメハメハ	ミスプロ系	サンデーサイレンス	サンデー系	D	B	C	D	C	C		
8	11	プラントハンター	牡8	54	瀧川	クロフネ	ノーザン系	サンデーサイレンス	サンデー系	D	B	D	D	D	D		
	12	オウケンピリヴ	牝5	53	北村友	クロフネ	ノーザン系	サンデーサイレンス	サンデー系	B	B	B	B	B	B	▲	

隊列図	見解	ラップタイム
ノブワ スアデ ウイン ドライ ネロ アンサ オウケ トーセ サトノ プラン メジャ コスモ ハイペース	<p>まずは隊列・展開面から考察していきましょう。逃げるのは十中八九ノブワイルド。最内枠にスアデラ&的場文男騎手が入ったのは厄介だが、鞍上はこの手の馬に乗る時は「何が何でも行く」構えを見せる左海騎手。外から相手が競ってこようがスタートで半馬身ほど出遅れようがどんな形になってもハナに立つまではガシガシと追ってくるだろう。直後に続くのはウインムート。2、3走前は2番手追走からの抜け出しで勝利。今回、テン乗りになる内田騎手はその手の競馬が好きなので、スタートから押していくもノブワイルドにはそこまで競いかけず、2番手を確保できれば、あとは流れに乗せた競馬をするか。(中略)</p> <p>本命はもう一度、ノブワイルドに期待する。さきたま杯でも本命に推したが、当時はスタートからネロと競い合い、前々で立ち回った馬がすべて失速するやや特殊なレース。重賞勝ち馬のグレイスフルリーブやネロでさえバテバテになっており、本馬の失速も力が通用しなかったというより展開の影響が非常に大きかったのではないかと。(以下省略)</p>	回顧 次走狙い馬

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	スアデラ		テンのスピードではノブワイルドの方が上。ここは揉まれて何も出来ずに終わるのでは。		
2	2	ノブワイルド	◎	さきたま杯でも本命に推したが、当時はスタートからネロと競い合い、前々で立ち回った馬がすべて失速するやや特殊なレース。重賞勝ち馬のグレイスフルリーブやネロでさえバテバテになっており、本馬の失速も力が通用しなかったというより展開の影響が非常に大きかったのではないかと。		
3	3	ドライヴナイト	△1	馬群に揉まれそうな点は嫌だが、過去に馬群の後ろから抜け出す競馬をしたこともあり、揉まれたら即ダメというタイプではなさそう。鞍上の藤岡祐介騎手がリズム重視で運び、前が勝手にバテたところ、直線でスルスルと浮上していくというシーンは十分に考えられる。		
4	4	メジャーアスリート		前走長月特別では勝ち馬ノブワイルドに7.5秒差もつけられての大敗。参加するだけだろう。		
5	5	ウインムート	○	ここに来て本格化ムードが漂い、前走プロキオンステークスはレコードで逃げ切ったマテラスカイを追いかけたの3着。展開に恵まれて追い込んできた2着インカンテーションより本馬の方が見どころのある走りだった。ここは内に是が非でも逃げたい馬がいるので、2番手追走の形を取りやすいはず。		
	6	アンサンブルライフ		さきたま杯はJRA勢の凡走+展開がハマっての3着好走。再び似たような流れになる可能性はあるが、さきたま杯3着で中途半端に人気を集めるのであれば、軽視が妥当では。		
6	7	コスモマイギフト		地元・笠松のA2でも上位争いに加わっていない馬。鞍上は今年騎手復帰を果たすもいまだ未勝利の阪上騎手。回ってくるだけなのでは。		
	8	トーセンハルカゼ		能力不足の上、浦和1400mは合っていない。追走でいっぱいになるのでは。		
7	9	ネロ	△2	コーナー4回のダート1400mはベスト条件ではないが、さきたま杯は展開が厳しかったのも事実。さきたま杯で前に行って失速したノブワイルドから入る以上、同じような理由で敗れた本馬も押さえておくべきだろう。		
	10	サトノタイガー		近走はどのレースに使っても掲示板が精いっぱい。衰えは明らかで苦戦必至だろう。		
8	11	プラントハンター		JRAで4勝を挙げて準オープンまで上り詰めたが、南関東に転入後はいまだに未勝利。1400mのスピード勝負では追走でいっぱいになるはず。		
	12	オウケンビリーブ	▲	冒頭で触れた通り、今回は内に前に行きたい馬がいるのでレース運びはしやすいはず。ウインムート以外のJRA勢は馬群に揉まれそうなドライヴナイト、自分の形に持ち込めるか怪しいネロなので、減点という減点がない本馬も堅実に走ってくるのではないかと。		